

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センター施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	02	01	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センター（建物）	意図	破損事故の復旧にかかる支出を最小限にとどめ、施設予約及び施設利用の円滑化を図る。
事業内容	生涯学習センター（流山エルズ）に係る指定管理者が行う事業以外の庶務事業（建物損害保険、施設予約システムにかかわるネットワーク通信料）及び突発的な修繕（30万円以上）			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年度に県から移譲された県立流山青年の家を生涯学習センター施設にする改修工事を行い、平成18年4月から指定管理者制度による維持管理運営を開始した。生涯学習センターは既存施設の一部を改修し、オープンしたものであり、付帯設備である予約システムに係る経費等、必要最小限の維持費用は継続している。平成25年度にESCO事業に伴う空調・照明改修工事を実施し、施設の改善が図られた。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	開館日数	347	347	347	日	→→	年間開館日数
②	稼働率	54.80	56.20	57.60	%	↑↑↑	各会議室全体の稼働率	
③	利用件数	18,164	19,001	19,316	件	↑↑↑	貸し時間単位件数の年間合計	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利用件数は昨年を上回っており、市民満足度の高い施設運営を行っている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,755,392	2,213,536	2,197,145				
事業費(b)(円)		695,892	199,936	219,545				
うち一般財源		695,892	199,936	219,545				
職員給与費(c)(円)		2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	利用者目線での改善を行うとともに、個別施設計画に基づき、施設の効率的な改修を行っていく。	③取組における課題(Check)	経年劣化による老朽化が目立ち、まとめて改修を行うには多額の経費が掛かることから、優先順位をつけて改修を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	文化施設及び体育施設の個別施設計画を作成し、効率的な改修に向けた現状の把握と必要な措置を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き効率的な改修を行う。利用率及び利用者数の向上を図る。